

新宿区緑視率調査結果報告書

平成 29 年 3 月

新宿区

目次

1. 調査概要	1
1) 調査背景と目的	1
2) 調査方法	1
(1) 調査対象と過去の撮影方法	1
(2) 調査方法の検討	2
3) 予備調査による検証（調査場所は新宿中央公園付近とする）	4
(1) 実施内容	4
(2) 昭和 59 年度の調査報告書掲載地点との比較	4
(3) 焦点距離 35 mm、50 mm の比較	5
(4) 調査方法の検討	5
(5) その他（撮影環境）	5
4) 緑視率調査方針	6
(1) 安全基準	6
(2) 撮影基準	6
(3) 分析基準	6
5) 調査地点	7
6) 調査スケジュール	9
2. 調査結果	10
1) 区全体結果	10
2) 地域ごとの結果	11
3) 緑視率の分布	12
(1) 全区の状況	12
(2) 10%未満の調査地点	13
(3) 25%以上の調査地点	14
3. 過去のデータとの比較	15
1) 全体結果の比較	15
2) 緑視率が減少した地点	17
3) 緑視率が増加している地点	18
4. まとめ	19
1) 新宿区の緑視率	19
2) 緑視率の目標値の事例	20
3) 区民意識調査との関係分析	21
4) 緑視率向上の方策	22
5) 施策展開への提案	25
5. 資料編	26
1) 調査地点の写真一覧	26

1. 調査概要

1) 調査背景と目的

本調査は、接道部緑地や壁面緑化等、緑被率調査等の方法では、検証ができない緑化方法について、緑視率（図1-1、人の目の高さにおける、目に見える範囲の緑の割合）の調査を行い、現在の状況を把握するとともに、昭和59年に行った同様の調査と比較し、今後の緑化施策の検討の基礎資料として活用することを目的とする。

2) 調査方法

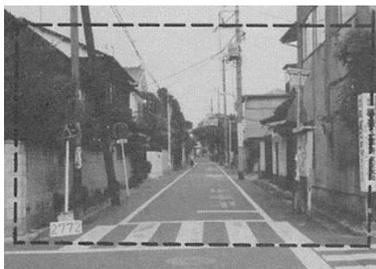
(1) 調査対象と過去の撮影方法

①調査範囲と対象地点数

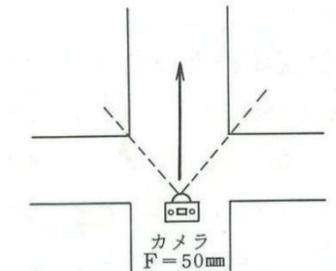
新宿区全域を230mメッシュに入れた交点に近い交差点、289か所

②昭和59年度の調査方法

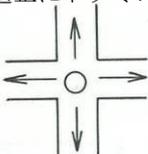
- ・観測地点：道路の交差点
- ・地点抽出：区の白図をメッシュ（230m×230m）で区切り、その交点から一番近い交差点を選定
- ・地点数：293地点（うち4地点は撮影後不適格と判断し除外）
- ・撮影方法：交差点の中央より各方向を撮影
- ・緑視率算出：写真内に写っている植物の占める割合を計測して、方向別の緑視率を算出し方向別の緑視率を平均して地点の緑視率を算出



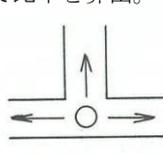
点線枠内を撮影。天地左右が余分に写っている場合は、適正にトリミングして比率を算出。



水平に構えて点線枠内を撮影。



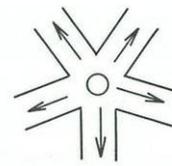
十字路



T字路



三差路



五差路

交差点の中央（幅員によっては少し下がって）より各方向を撮影

図1-1 緑視率調査の撮影方法

(2) 調査方法の検討

①撮影地点

昭和 59 年度の撮影方法を基準に安全面を考慮して、撮影地点を設定した。撮影方法は以下のとおりである（図 1-2）。

a. 横断歩道のある道路（おおむね幅員 4m 以上）と b. 細街路（おおむね幅員 4m 以下）の 2 つの方法で撮影する。

a 地点では、できるだけ交差点に近い横断歩道の中点に立ち、各方向を撮影する。

b 地点では、交差点の中央より各方向を撮影する。

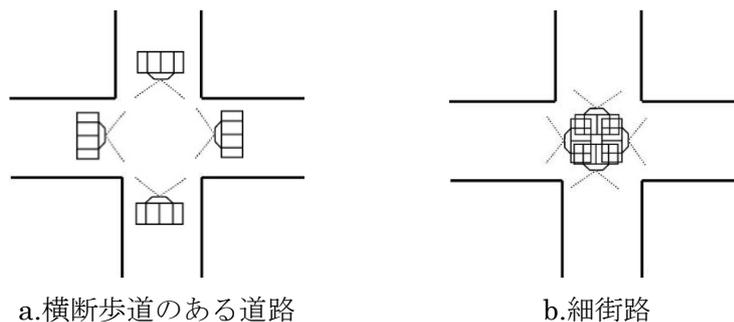


図 1-2 撮影地点

②焦点距離

前回の調査で使用したカメラの焦点距離は 50 mm であるが、近年の緑視率調査では、以下のように焦点距離 35 mm のカメラがよく利用されている（図 1-3）。

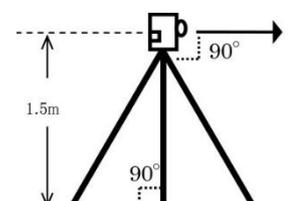
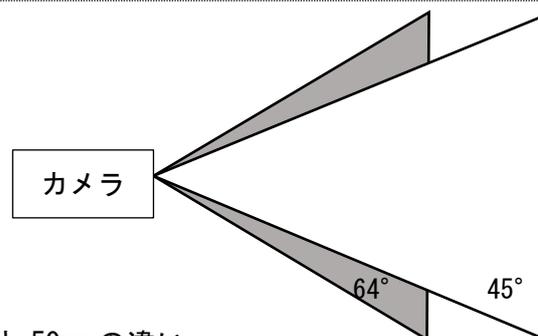
35 mm は、50 mm より広範囲を撮影できることから密集している都市空間でより効果的な調査が期待できる。しかし、50 mm で撮影した前回の調査データとの比較ができないため、予備調査では、同一地点で 35 mm、50 mm で撮影し、比較検討を行い、緑視率調査の焦点距離を決定するものとする。

緑視率調査における焦点距離設定の他事例

- ①江東区（平成 26 年 3 月） 撮影範囲：35 mm レンズ（35 フィルム相当）
- ②大阪府（平成 25 年 8 月） 一般的に広く普及している焦点距離 24 mm（35 mm フィルム換算）を使用
- ③京都府（平成 23 年 5 月） デジタルカメラ（35 mm レンズのカメラ相当）

③撮影高さ

図 1-3 35mm と 50mm の違い



一般的に歩行者の目線が 1.5m とされていることから、GL. から 1.5m の位置で撮影する（図 1-4）。

④昭和 59 年度調査との比較方法

図 1-4 撮影高さ

新宿区緑の実態調査（第 2 次）データをもとに撮影を行い、分析条件（写真を道路角に合わせてトリミング）を合わせ、比較分析を行なう。

⑤移動手段

調査を円滑に行うための手段として、自転車、徒歩が想定される。徒歩で移動した場合の時速が 5km/h であるのに対し、自転車（シティサイクル）で移動した場合の時速は 10km/h である。自転車の時速が徒歩の 2 倍と効率的に調査を行えることから、移動手段は自転車を利用する。

⑥緑視率の算出

新宿区緑の実態調査（第 2 次）と同様の方法で算出し、緑視率の割合の比較分析が行えるものとする。昭和 59 年度調査と同様にトリミングをして緑視率の算出を行なう（図 1-5）。

新宿区緑の実態調査（第 2 次）記載の調査方法

写真内に写っている植物（樹木・草）の占める割合を計測して方向別の緑視率を算出し、方向別の緑視率を平均して地点緑視率を算出



図 1-5 トリミングの例

3) 予備調査による検証（調査場所は新宿中央公園付近とする）

(1) 実施内容

- ①昭和 59 年度の撮影写真の内 199 番の地点写真とその地点の平均データを用いて現在の写真との比較を行ない、過去のデータとの比較の可能性を検討。
- ②過去の調査方法である 50mm と 35mm の比較とトリミングによる分析の違いを確認。
- ③横断歩道のある道路と細街路での調査方法を検討。

(2) 昭和 59 年度の調査報告書掲載地点との比較

新宿区緑の実態調査（第 2 次）掲載の写真地点を参考に、概ね同一地点で撮影し、緑視率の比較を行った。調査結果は以下のとおりであった（図 1-6）。

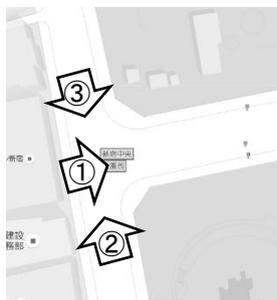
- ・過去と現在の周辺環境は変わっているが、緑視率の比較は可能であった。
- ・写真①での分析では、平成 28 年度の緑視率が約 26%増加しているが、昭和 59 年度の写真が白黒でみどりの割合の確認が難しかった。また、地点平均は過去のデータで 44.7%であったことに対し、平成 28 年度の地点平均が 53.32%であり、約 8.62%増加している。



①昭和 59 年度 41.16%



①平成 28 年度 67.16%



②199 番地点（北方面 53.88%）



③199 番地点（南方面 47.84%）

199 番地点の位置

図 1-6 昭和 59 年度の調査内容との比較①

(3) 焦点距離 35 mm、50 mmの比較

新宿区緑の実態調査（第2次）掲載の緑視率分布図を参考に、細街路（200番地点）で焦点距離 35 mm、50 mmの撮影を想定して、緑視率の割合を比較した。調査結果は以下のとおりであり、50 mmでは道路の角を入れることが厳しく、近くのみどりを撮影することができなく、緑視率は一番低かった。緑視率は、35 mmが 4.73%、角を基準に 16 : 10 の比率でトリミングした場合 4.80%であった。

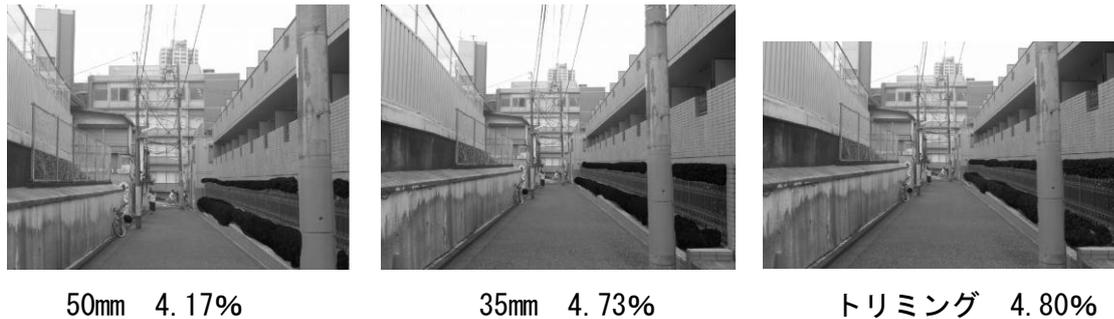


図1-7 昭和59年度の調査内容との比較②

(4) 調査方法の検討

道路の角を入れて撮影するためには、横断歩道では反対側の横断歩道で撮影をする必要があるが、道路と空が大きく写るためトリミングをする必要がある。細街路では、50mmより広く撮影できる35mmレンズが撮影に有効であったが、撮影するレンズと分析方法は、統一して行なう必要があるため、全地点を35mmレンズで撮影し、角を基準にトリミングをして分析をする方法が有効である。

(5) その他（撮影環境）

- ① 停車している車（特に大型）によって、見えないみどりが多い場合がある。
- ② 横断歩道の信号が短い時、撮影が困難である。
- ③ 曲線の道路の場合、中央が分かりづらい場合がある。
- ④ 過去の撮影場所がわからない場所がある。

4) 緑視率調査方針

調査データを比較するためには、明確な調査・分析基準を設定する必要があり、以上の結果から、本業務では、安全基準、撮影基準、分析基準の3つを調査方針として設定して、調査・分析を実施する。

(1) 安全基準

- ①調査員の安全が確保できない場合は、撮影を中止する。
- ②道路の幅員や横断歩道の移動などの変化がある場合は、近くの横断歩道に移動するか、調査対象から除外する。
- ③横断歩道では、3枚以内で撮影をし、早めに道を渡れるようにする。

(2) 撮影基準

- ①撮影高さは、地面からカメラのレンズの中心部まで1.5mとする。
- ②カメラは、地面に対し、水平になるようにする。
- ③撮影するカメラのレンズは35m（撮影角度64°）とする。
- ④道路両側の角が見えるような範囲を撮影するが、道路の幅、曲線道路など条件が厳しい場合は、可能な限り角を入れるようにする。

(3) 分析基準

- ①信号、看板など、固定物によって見えないみどりは除外する。
- ②車両、自転車など、動く障害物によって見えないみどりは除外する。
- ③分析に使用する写真は、16:10の比率で、角を基準としてトリミングして分析する。
- ④小数点は、00.00%までとして算出する。
- ⑤分析は、Adobe Photoshop Elements 8.0を利用して行なう。

5) 調査地点

過去の調査地点の内、道路と町並みの変化で、移動して調査をした地点が 20 箇所あり、安全上の問題で、調査が不可能であった地点が過去の調査地点を含めて 6 箇所あった。本調査の調査地点は、図 1-8、図 1-9 に示した。

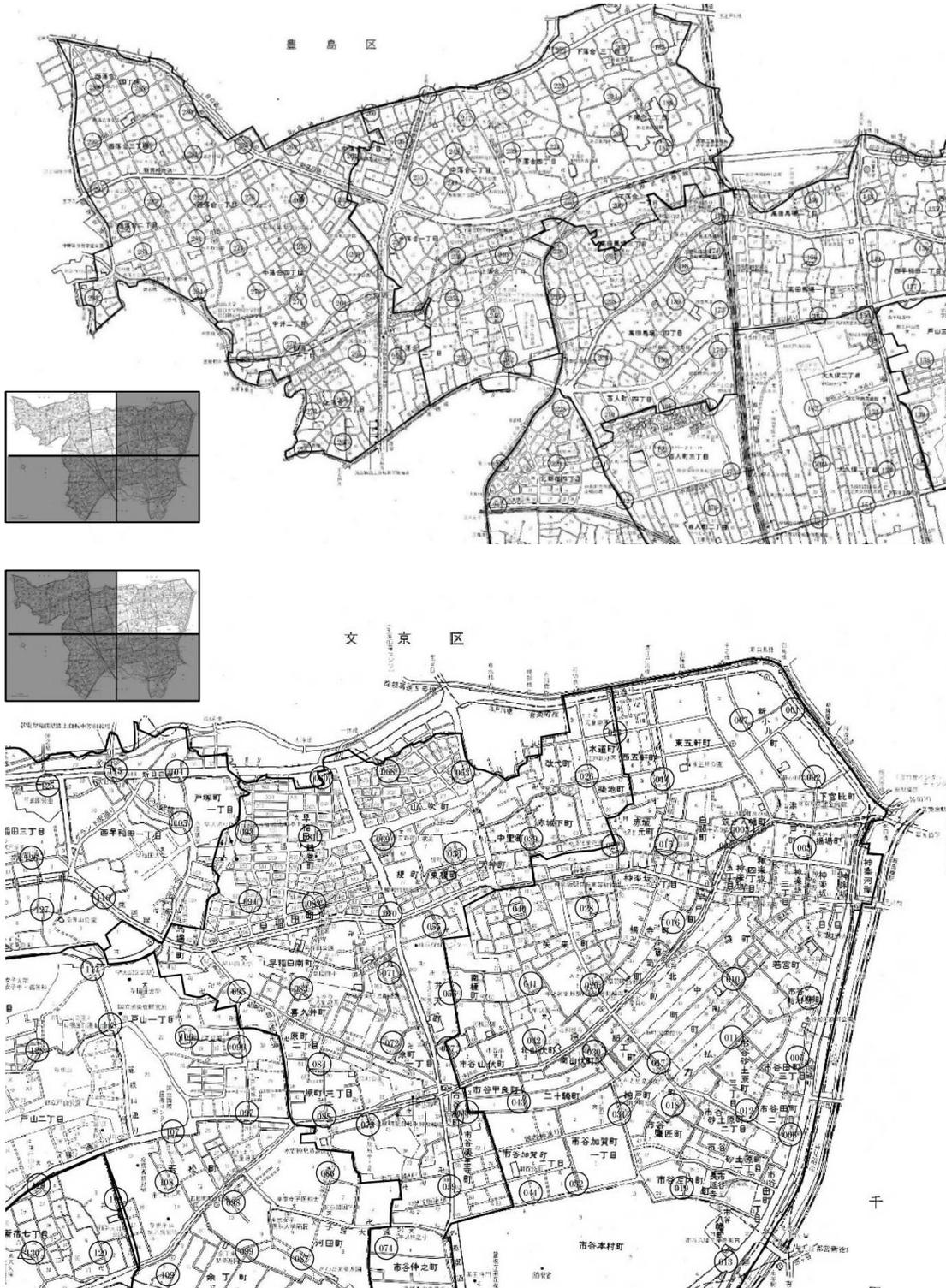


図 1-8 緑視率調査地点の詳細 I

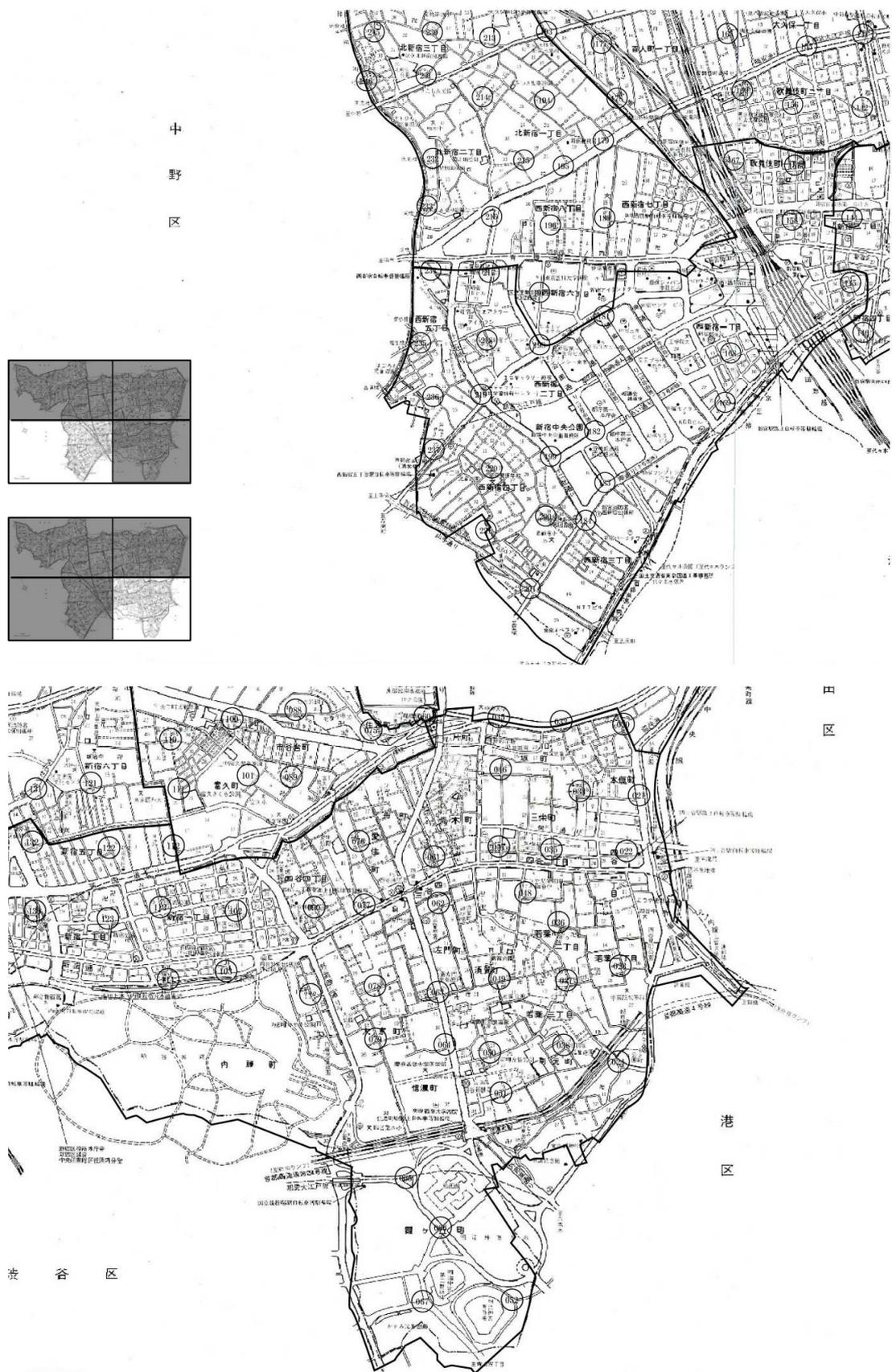


図1-9 緑視率調査地点の詳細II

6) 調査スケジュール

本調査の実施スケジュールは、表1-1のとおりであり、図1-10のように新宿区を11エリアに分けて調査を行った。

表1-1 調査スケジュール

月	火	水	木	金
	9月27日 Aエリア 45地点	9月28日 Bエリア 39地点		9月30日 C: 32地点 I: 22地点
10月3日 Kエリア 22地点	10月4日 Fエリア 32地点		10月6日 J・Hエリア 34地点 Eエリア 35地点	10月7日 D・Gエリア 28地点

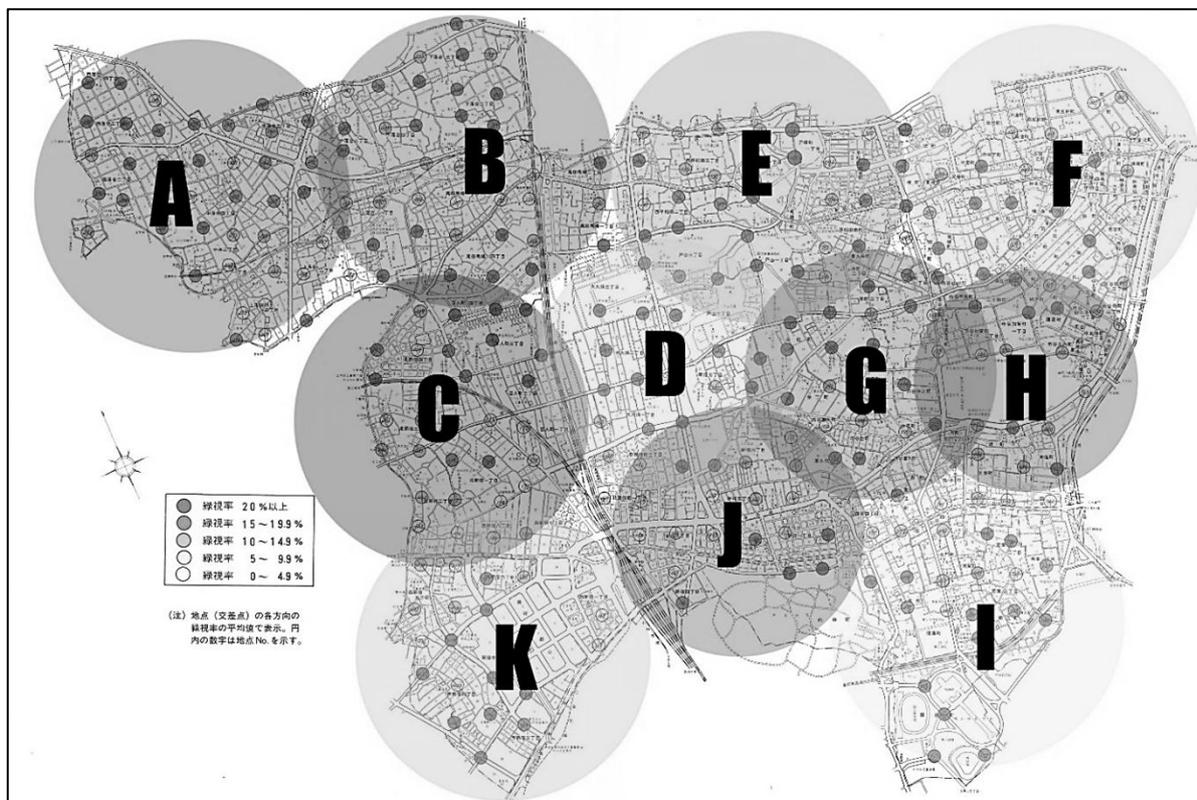


図1-10 調査エリア

2. 調査結果

1) 区全体結果

新宿区の287地点の緑視率を調査した結果、区全体の平均の緑視率は、18.12%であった。調査地点ごとの結果は、表2-1のとおりである。

表2-1 区全体の緑視率調査結果（平均：各地点の緑視率平均）

No.	平均	No.	平均	No.	平均	No.	平均	No.	平均	No.	平均	No.	平均
001	2.20	043	27.48	085	13.95	127	19.74	169	36.46	211	21.40	253	11.28
002	14.10	044	5.47	086	32.75	128	45.89	170		212	22.87	254	32.90
003	17.61	045	11.65	087	5.18	129	8.92	171	22.95	213	15.37	255	17.38
004	21.42	046		088	7.70	130	8.63	172	7.78	214	5.72	256	38.54
005	36.99	047	5.02	089	8.44	131	45.15	173	40.07	215	5.88	257	22.41
006	15.89	048	23.17	090	7.13	132	1.96	174	21.06	216	21.67	258	10.53
007	13.49	049	17.65	091		133	3.91	175	13.46	217	30.97	259	
008		050	23.79	092	24.27	134	10.34	176	17.98	218	36.82	260	11.16
009	13.65	051	10.00	093	4.73	135	11.10	177	1.88	219	23.30	261	6.98
010	26.04	052	30.63	094	4.55	136	35.33	178	26.07	220	27.42	262	22.93
011	18.90	053	19.12	095	6.72	137	13.37	179	13.28	221	30.28	263	27.84
012	17.41	054	10.98	096	3.90	138	11.71	180	19.84	222	30.10	264	13.42
013	24.29	055	20.81	097	11.90	139	28.05	181	48.81	223	45.01	265	23.69
014	13.63	056	11.46	098	23.71	140	20.72	182	26.85	224	27.57	266	8.26
015	29.53	057	23.25	099	8.28	141	5.56	183	64.21	225	23.16	267	13.26
016	9.20	058	4.27	100	6.61	142	5.83	184	31.77	226	19.70	268	28.88
017	4.95	059	1.64	101	9.49	143		185	11.02	227	35.97	269	8.68
018	19.94	060	12.82	102	20.99	144	0.69	186	40.77	228	12.58	270	27.42
019	20.26	061	10.38	103	36.30	145	5.45	187	36.18	229	4.23	271	14.93
020	24.60	062	28.39	104	17.85	146	5.49	188	12.86	230	16.87	272	4.90
021	26.86	063	5.12	105	35.14	147	12.15	189	13.73	231	32.08	273	15.85
022	0.27	064	7.43	106	20.60	148	22.45	190	25.30	232	16.55	274	28.85
023	9.70	065	43.92	107	28.80	149	12.25	191	23.03	233	17.24	275	8.25
024	16.04	066	35.49	108	12.76	150	7.01	192	26.07	234	24.62	276	24.54
025	6.39	067	23.08	109	17.12	151	17.44	193	8.98	235	5.36	277	7.51
026	1.03	068	13.95	110	8.14	152	4.13	194	14.61	236	5.66	278	48.26
027	14.13	069	18.15	111	23.47	153	20.05	195	24.87	237	5.43	279	16.65
028	26.72	070	5.05	112	7.01	154	9.47	196	4.05	238	17.53	280	1.37
029	11.77	071	8.33	113	14.25	155	4.86	197	30.53	239	30.83	281	30.25
030	16.77	072	24.95	114	35.71	156	1.32	198	32.54	240	11.23	282	7.66
031	5.27	073	21.80	115	4.42	157	0.53	199	53.32	241	8.69	283	6.64
032	18.63	074	18.25	116	10.39	158	6.05	200	20.79	242	16.50	284	10.68
033	10.86	075	0.32	117	46.00	159	11.43	201	4.72	243	35.68	285	30.85
034	9.24	076	11.30	118	54.59	160	2.69	202	26.66	244	25.97	286	40.42
035	12.06	077	40.78	119	23.49	161	34.08	203	25.25	245	12.55	287	15.04
036	11.19	078	17.10	120	21.13	162	44.51	204	42.24	246	38.37	288	9.62
037	4.36	079	22.00	121	4.49	163	16.92	205	45.46	247	10.33	289	22.45
038	4.94	080	1.58	122	16.33	164	7.76	206	7.10	248	21.51	290	23.53
039	3.08	081	31.83	123	22.23	165	15.08	207	10.76	249	28.04	291	8.39
040	17.87	082	18.31	124	0.00	166	12.14	208	14.91	250	15.19	292	33.86
041	41.58	083	19.35	125	6.30	167	0.21	209	22.64	251	20.49	293	15.15
042	19.74	084	42.78	126	6.51	168	0.39	210	27.19	252	7.77		
区全体平均		18.12											

2) 地域ごとの結果

新宿区の地域ごとの緑視率は、図2-1と表2-2のとおりであり、新宿駅周辺地域の平均緑視率が22.69%で地域の中で最も高かった。緑視率が低い地域は、榎地域が14.38%、牛込筆筒地域が15.05%の順であり、10地域の中で5地域の緑視率が18%以上であった。

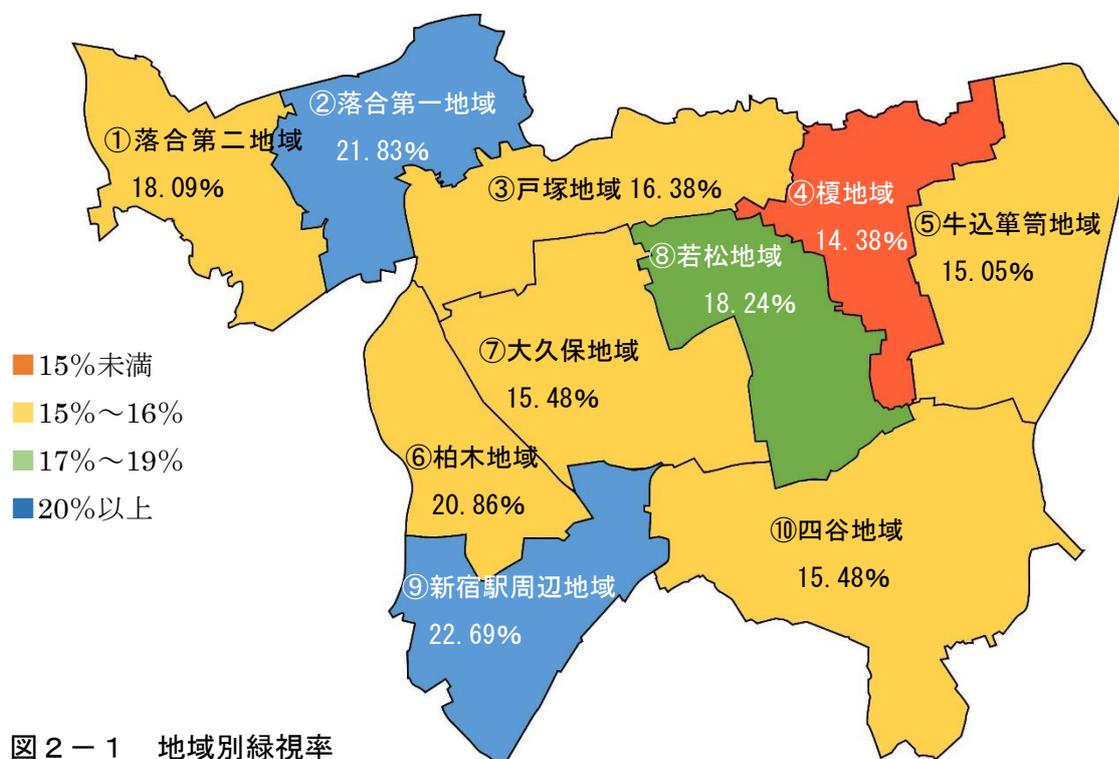


表2-2 地域別調査地点数と緑視率

地域名	地点数	緑視率の平均(%)
①落合第二地域	36	18.09
②落合第一地域	29	21.83
③戸塚地域	32	16.38
④榎地域	28	14.38
⑤牛込筆筒地域	34	15.05
⑥柏木地域	25	20.86
⑦大久保地域	33	15.48
⑧若松地域	28	18.24
⑨新宿駅前地域	23	22.69
⑩四谷地域	43	15.48
区全体の平均	287	18.12

※なお、地域境界にある調査地点は、該当する各地域に加えて算出した。

3) 緑視率の分布

(1) 全区の状況

調査地点を5%毎に区分すると緑視率が0~4.9%と最も低かった調査地点は、新宿駅の東口から北方向の新宿3丁目に最も多く分布しており、新宿区の西側の西新宿6丁目に緑視率30%以上の地点が多く分布している(図2-2)。

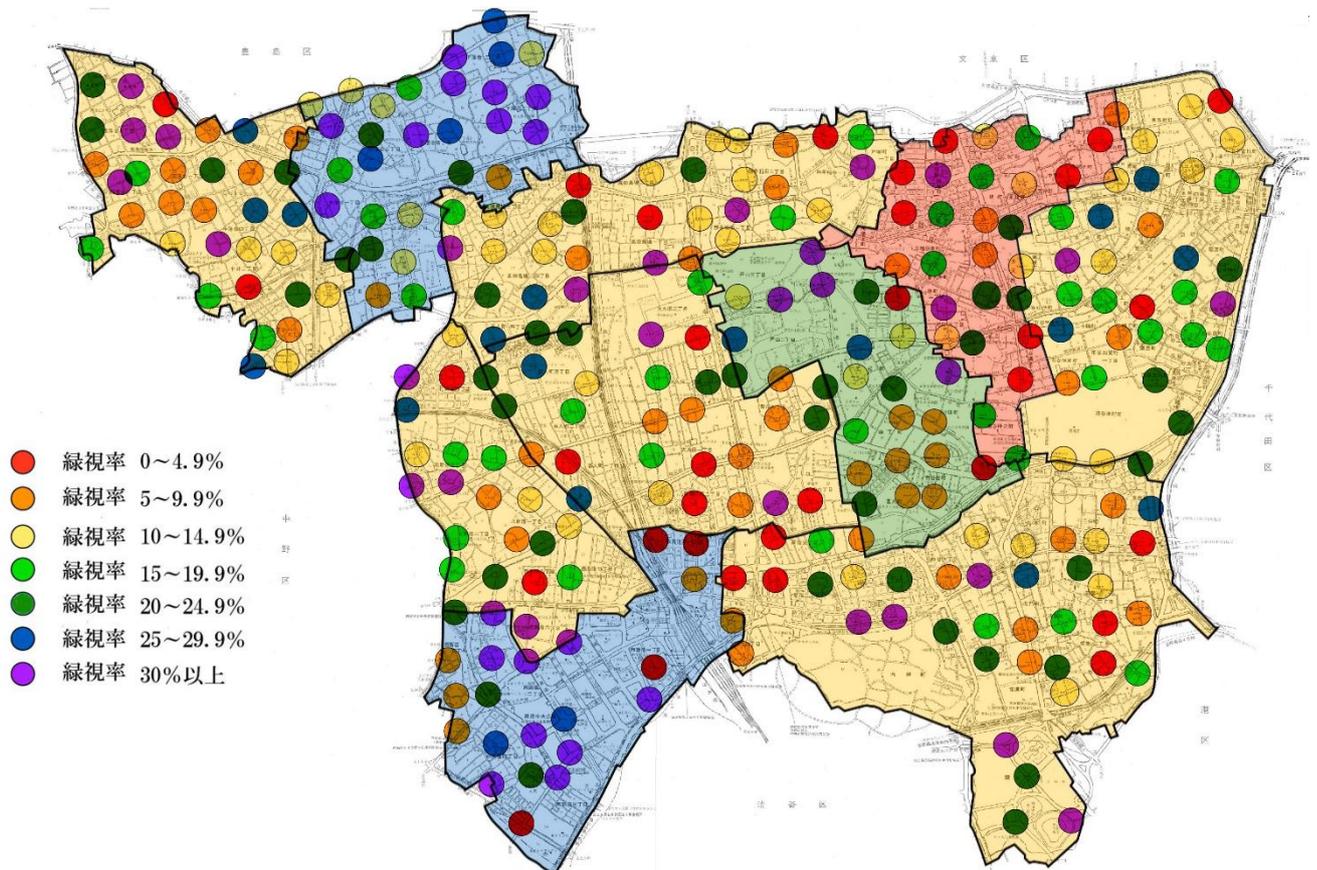


図2-2 調査地点と緑視率の分布図

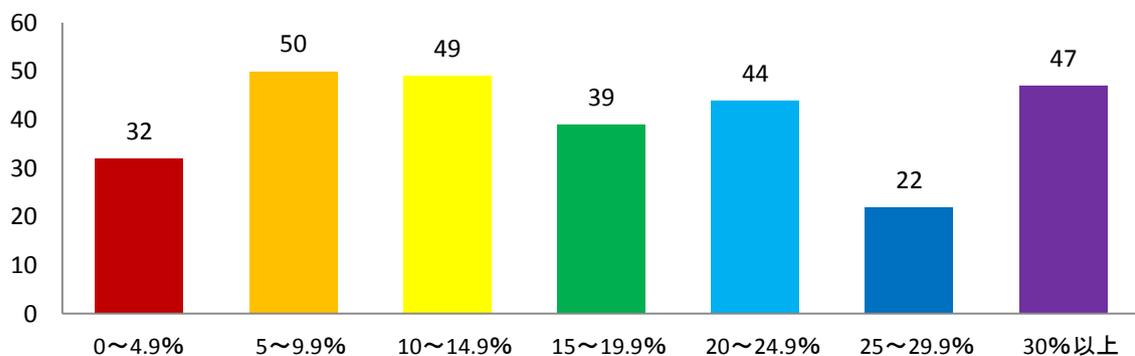


図2-3 調査地点の数(調査地点を5%毎に区分)

(2) 10%未満の調査地点

10%未満の調査地点は、287箇所の内85箇所(全体の内約29%)があり、その内5%未満の調査地点は33箇所(全体の内約11.5%)であった。その分布と代表例は、図2-4に示したとおりである。

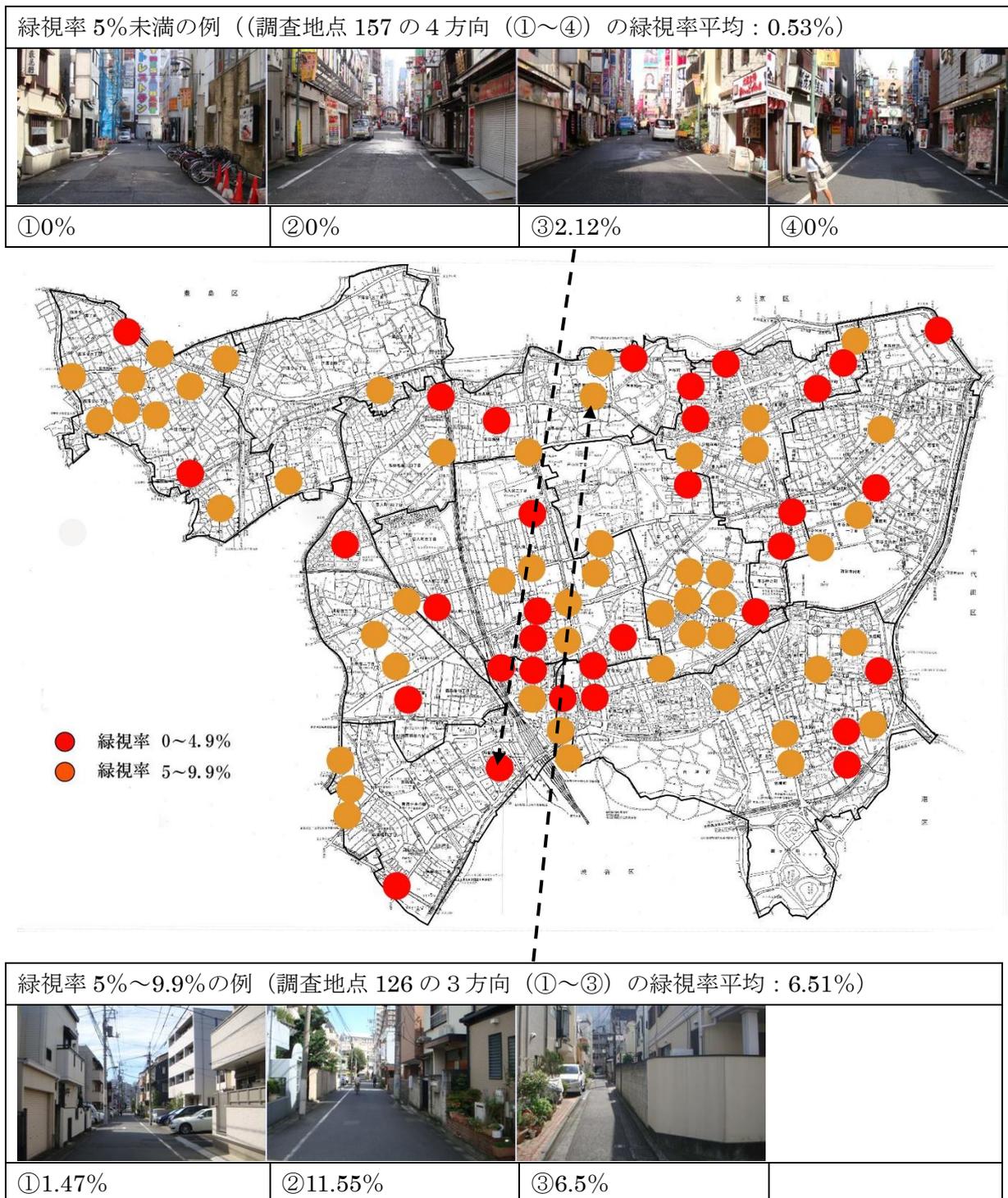


図2-4 10%未満の調査地点の分布

(3) 25%以上の調査地点

緑視率 25%以上の調査地点は、287 箇所の内 70 箇所（全体の内約 24.3%）あり、その内 30%以上の調査地点は 48 箇所（全体の内約 16.7%）であった。その分布と代表例は、図 2-5 に示したとおりである。



図 2-5 20%以上の調査地点の分布

3. 過去のデータとの比較

1) 全体結果の比較

平成28年度の区全体の平均は、18.12%であり、昭和59年度の17.00%より約1.12ポイント増加している。道路の変化、工事などで調査地点を移動した地点を除いた平均は、昭和59年度の平均が17.40%平成28年度の平均が18.10%で、約0.7ポイントが増加している。

各地点の結果は、表3-1と図3-1に示したとおりであり、昭和59年より5ポイント以上減少している地点が81箇所（主に住宅街）あり、5ポイント以上増加している地点が92箇所（公園周辺の街路）あった。

表3-1 昭和59年度と平成28年度の緑視率比較(%)

No.	S59	H28																		
001	10.7	2.20	043	17.7	27.48	085	10.5	13.95	127	18.0	19.74	169	6.8	36.46	211	18.3	21.40	253	1.3	11.28
002	4.70	14.10	044	4.30	5.47	086	35.00	32.75	128	54.50	45.89	170	0.30		212	16.80	22.87	254	18.30	32.90
003	11.70	17.61	045	14.30	11.65	087	8.30	5.18	129	15.30	8.92	171	5.30	22.95	213	4.70	15.37	255	15.70	17.38
004	22.30	21.42	046	10.50		088	10.70	7.70	130	11.70	8.63	172	13.00	7.78	214	16.70	5.72	256	25.30	38.54
005	12.30	36.99	047	10.00	5.02	089	30.00	8.44	131	19.70	45.15	173	54.00	40.07	215	10.30	5.88	257	3.50	22.41
006	12.00	15.89	048	9.00	23.17	090	7.30	7.13	132	1.00	1.96	174	21.30	21.06	216	0.70	21.67	258	6.00	10.53
007	2.30	13.49	049	17.00	17.65	091	-		133	2.70	3.91	175	22.80	13.46	217	4.30	30.97	259	21.00	
008	-		050	21.00	23.79	092	28.70	24.27	134	7.50	10.34	176	24.30	17.98	218	14.30	36.82	260	17.70	11.16
009	15.00	13.65	051	28.30	10.00	093	3.80	4.73	135	10.00	11.10	177	5.00	1.88	219	20.30	23.30	261	19.30	6.98
010	24.30	26.04	052	53.00	30.63	094	10.30	4.55	136	15.00	35.33	178	9.30	26.07	220	9.70	27.42	262	15.00	22.93
011	22.00	18.90	053	13.70	19.12	095	8.70	6.72	137	20.70	13.37	179	2.30	13.28	221	21.00	30.28	263	17.00	27.84
012	13.30	17.41	054	11.00	10.98	096	8.30	3.90	138	19.00	11.71	180	14.30	19.84	222	14.70	30.10	264	13.80	13.42
013	7.30	24.29	055	12.70	20.81	097	25.30	11.90	139	31.00	28.05	181	12.00	48.81	223	30.70	45.01	265	12.50	23.69
014	14.30	13.63	056	28.30	11.46	098	23.00	23.71	140	13.70	20.72	182	33.00	26.85	224	38.00	27.57	266	2.70	8.26
015	26.70	29.53	057	19.70	23.25	099	14.00	8.28	141	30.30	5.56	183	44.30	64.21	225	11.80	23.16	267	6.00	13.26
016	18.30	9.20	058	4.70	4.27	100	3.30	6.61	142	37.00	5.83	184	19.30	31.77	226	5.30	19.70	268	19.30	28.88
017	5.00	4.95	059	1.70	1.64	101	15.00	9.49	143	-		185	11.00	11.02	227	26.00	35.97	269	6.70	8.68
018	20.00	19.94	060	22.00	12.82	102	25.00	20.99	144	2.50	0.69	186	29.00	40.77	228	12.00	12.58	270	17.80	27.42
019	13.30	20.26	061	1.30	10.38	103	31.00	36.30	145	0.70	5.45	187	26.80	36.18	229	2.80	4.23	271	14.00	14.93
020	14.70	24.60	062	14.70	28.39	104	20.80	17.85	146	16.70	5.49	188	0.30	12.86	230	12.50	16.87	272	3.30	4.90
021	21.30	26.86	063	13.00	5.12	105	28.30	35.14	147	10.00	12.15	189	22.80	13.73	231	14.00	32.08	273	3.70	15.85
022	0.70	0.27	064	5.00	7.43	106	29.00	20.60	148	27.70	22.45	190	24.50	25.30	232	12.80	16.55	274	19.70	28.85
023	19.00	9.70	065	50.00	43.92	107	23.70	28.80	149	7.80	12.25	191	21.70	23.03	233	7.70	17.24	275	11.20	8.25
024	29.00	16.04	066	43.50	35.49	108	24.30	12.76	150	33.50	7.01	192	35.30	26.07	234	10.00	24.62	276	21.00	24.54
025	7.00	6.39	067	42.70	23.08	109	23.00	17.12	151	23.00	17.44	193	7.50	8.98	235	10.80	5.36	277	8.30	7.51
026	5.30	1.03	068	20.00	13.95	110	6.80	8.14	152	25.00	4.13	194	26.70	14.61	236	2.00	5.66	278	27.00	48.26
027	5.30	14.13	069	19.70	18.15	111	13.70	23.47	153	4.50	20.05	195	1.30	24.87	237	20.00	5.43	279	18.70	16.65
028	36.00	26.72	070	27.80	5.05	112	5.00	7.01	154	23.00	9.47	196	7.00	4.05	238	16.00	17.53	280	8.70	1.37
029	13.50	11.77	071	8.80	8.33	113	14.80	14.25	155	15.50	4.86	197	17.30	30.53	239	13.00	30.83	281	27.00	30.25
030	15.00	16.77	072	17.00	24.95	114	26.70	35.71	156	5.00	1.32	198	26.70	32.54	240	11.00	11.23	282	8.00	7.66
031	23.00	5.27	073	16.30	21.80	115	10.00	4.42	157	0.30	0.53	199	44.70	53.32	241	28.30	8.69	283	4.80	6.64
032	11.00	18.63	074	34.30	18.25	116	21.30	10.39	158	0.30	6.05	200	31.70	20.79	242	21.30	16.50	284	15.70	10.68
033	17.70	10.86	075	4.00	0.32	117	19.80	46.00	159	41.70	11.43	201	22.00	4.72	243	19.80	35.68	285	25.50	30.85
034	11.00	9.24	076	17.00	11.30	118	36.80	54.59	160	11.30	2.69	202	17.70	26.66	244	24.30	25.97	286	29.80	40.42
035	1.30	12.06	077	14.70	40.78	119	20.70	23.49	161	28.30	34.08	203	37.00	25.25	245	9.70	12.55	287	22.80	15.04
036	35.00	11.19	078	40.00	17.10	120	16.00	21.13	162	45.70	44.51	204	18.30	42.24	246	13.00	38.37	288	16.30	9.62
037	0.70	4.36	079	19.30	22.00	121	10.80	4.49	163	31.70	16.92	205	29.00	45.46	247	3.00	10.33	289	20.50	22.45
038	18.70	4.94	080	2.30	1.58	122	12.00	16.33	164	17.00	7.76	206	6.80	7.10	248	21.00	21.51	290	22.00	23.53
039	21.70	3.08	081	41.00	31.83	123	16.70	22.23	165	14.70	15.08	207	4.80	10.76	249	29.00	28.04	291	14.80	8.39
040	24.30	17.87	082	19.30	18.31	124	-	0.00	166	10.80	12.14	208	12.80	14.91	250	2.00	15.19	292	22.70	33.86
041	23.70	41.58	083	34.00	19.35	125	11.30	6.30	167	5.70	0.21	209	17.30	22.64	251	16.30	20.49	293	10.30	15.15
042	23.70	19.74	084	25.30	42.78	126	11.30	6.51	168	0.50	0.39	210	33.30	27.19	252	5.50	7.77			

	昭和59年	平成28年
全調査地点の平均	17.00	18.12
移動してない地点の平均	17.40	18.10

■ 移動した調査地点

■ 5%以上減少 ■ 5%以上増加 □ 20%以上減少 □ 20%以上増加

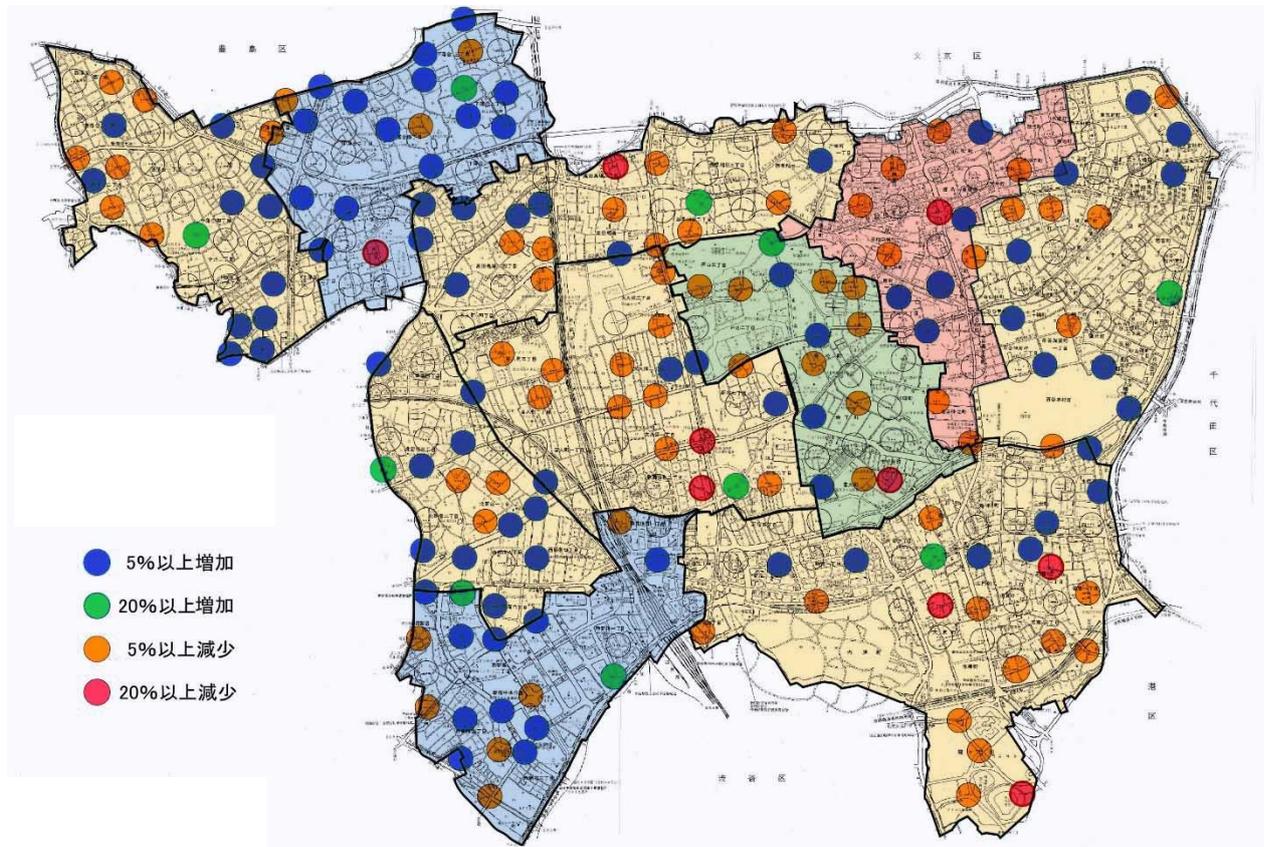


図3-1 昭和59年度と平成28年度の緑視率比較

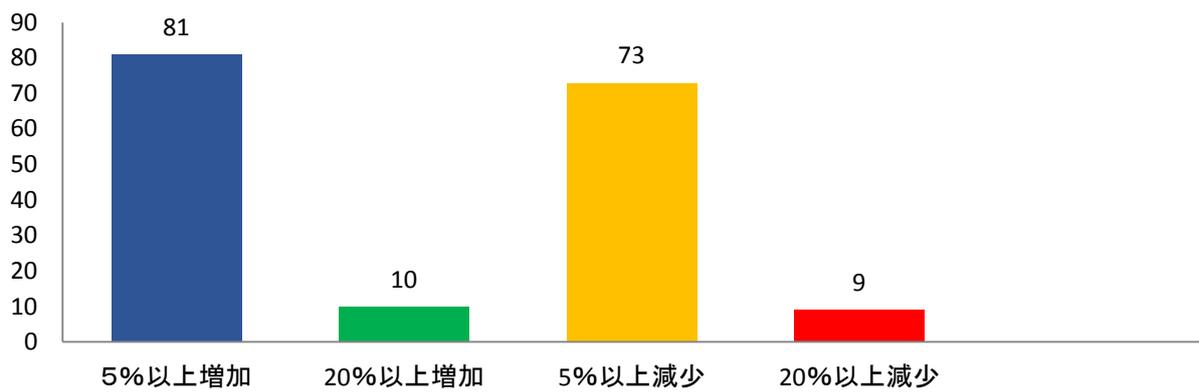


図3-2 調査地点の数（増減地点）

2) 緑視率が減少した地点

昭和 59 年より 20 ポイント以上緑視率が減少している地点は、287 地点の内約 9 箇所があった。その地点は、図 3-3 のとおりであり、地上部の緑地が少なく、建物の壁、塀が多い景観である。

36 地点の 3 方向 (①~③) の緑視率平均 : 35.00% → 11.19%			
			
①15.77%	②4.91%	③12.88%	
78 地点の 3 方向 (①~③) の緑視率平均 : 40.00% → 17.10%			
			
①17.55	②16.87	③16.88	
89 地点の 4 方向 (①~④) の緑視率平均 : 30.00% → 8.44%			
			
①1.62%	②12.39%	③3.17%	④16.58%

図 3-3 緑視率が大きく減少した地点の例

3) 緑視率が増加している地点

昭和 59 年より緑視率が 20 ポイント以上増加した地点は 10 箇所ある。図 3-4 のように過去の調査地点の写真と比較をしてみると樹木の成長が大きく影響していることが確認できる。そして、図 3-5 のように樹木の成長、緑地空間の整備などによる増加がみられる。

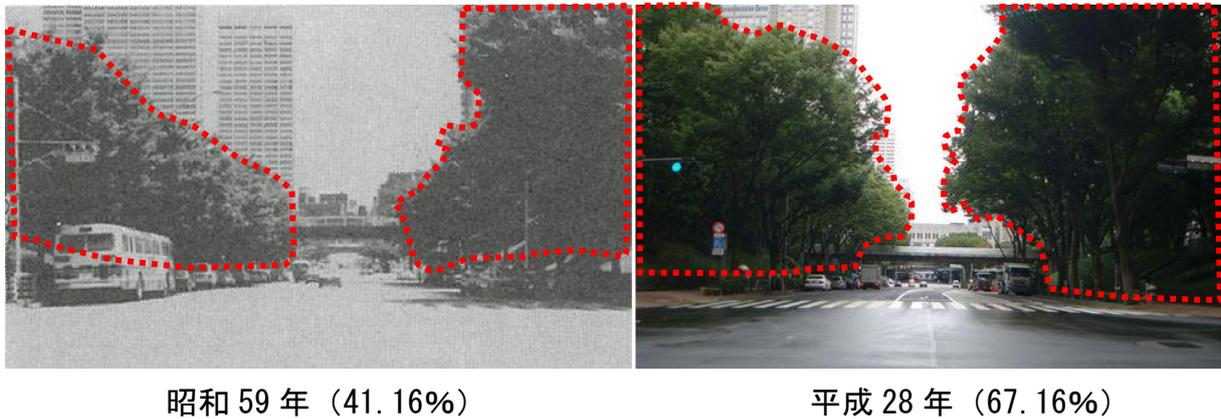


図 3-4 199 地点での昭和 59 年と平成 28 年の比較 (..... 線内は緑)

136 地点の 3 方向 (①~③) の緑視率平均 : 15.00% → 35.33%			
			
①6.28	②52.81	③43.89	④38.32
217 地点の 3 方向 (①~③) の緑視率平均 : 4.30% → 30.97%			
			
①23.2	②40.81	③28.89	
278 地点の 3 方向 (①~③) の緑視率平均 : 27.00% → 48.26%			
			
①50.07	②50.05	③44.65	

図 3-5 緑視率が大きく増加した地点の例

4. まとめ

1) 新宿区の緑視率

本調査は、新宿区の緑視率の現状を把握し、昭和59年の調査データと比較することで、新宿区緑視率の変遷を確認するために実施したものであり、その結果を以下の①～④にまとめた。

①緑視率の増加

新宿区の287地点での緑視率平均は、18.12%であった。昭和59年度の17.00%より約1.13ポイント増加している。今回調査ができなかった地点を除いた結果を比較しても、平成28年度の平均が過去より約0.7ポイント増加している。

②樹木の成長と民有地緑化

区全体に緑視率が減少している地点も多くあるが、公園の樹木や街路樹の成長、マンションや住宅周辺の緑化などによって区全体の緑視率の減少を抑えている。

③緑視率の地域差

地域別にみると10地域の中で8地域の緑視率が18%以上であったが、榎地域が14.38%、牛込笹筒地域が15.05%で、この2地域が緑視率の平均を大きく下回っていた。

④緑化対象の把握

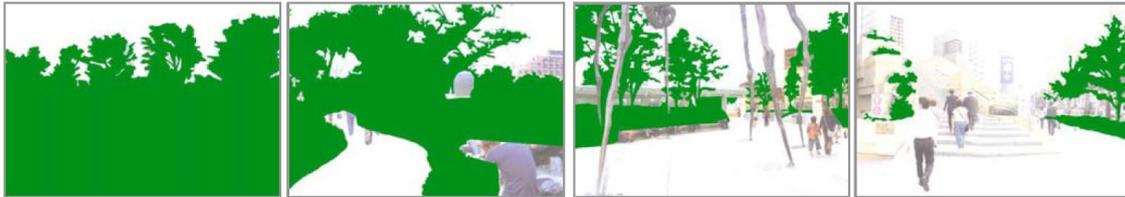
緑視率が低い5%未満のみどりが少ない地域で緑視率を確保することができる植栽可能空間は、建物の壁、塀、ベランダ、フェンスなどである。

2) 緑視率の目標値の事例

緑視率は、25%以上になると緑が多いと感じる調査結果（以下の①）があり、自治体での目標や目安の設定は、10%、20%、25%（以下の②～④）がある。

①緑視率25%以上で「緑が多い」と感じる。

（都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験調査について（国土交通省、平成17年））



屋上庭園（緑視率7.8%）

毛利庭園（緑視率7.5%）

66プラザ（緑視率2.3%）

イトハット前（緑視率1.1%）

②緑視率25%以上の目安を設定（緑視率調査ガイドライン（大阪市、平成25年））

※緑視率に関する目標値の目安について

大阪府として緑視率の目標値については、緑視率の性格上、一律の目標値を定める指標としては馴染まないものと考えており、当面は、設定しません。必要に応じて各市町村において、目標値を設定していただければ結構です。なお、既往調査において、緑視率25%以上が「緑が多いと感じはじめるといった結果が得られています。

そのため、**緑視率25%以上が目標値の目安**になると考えられます。

③低層建築物緑視率20%以上（三田市新市街地景観計画（2010.ver1））



・低層建築物：**緑視率20%以上に相当する緑視面積**を確保しなければならない。

（緑視率20%相当の緑視面積

$$= \text{敷地の間口(m)} \times 0.4(\text{m})$$

道路から当該建築物を見た視野(左図の赤色枠)のうち、植栽が占める割合(緑視率)を20%以上となるように緑化してください。なお、計画段階では緑視率を算出できないため、基準値相当として敷地の道路境界線上での植栽の立面換算面積(緑視面積)を別途定めています。敷地の道路境界線上で高さ1.2mの生垣を間口の1/3に設置するぐらいの緑量となります。

④緑視率10%以上を目指す。(第1次京のみどり推進プラン(京都市、平成23年度～27年度))

※)京都市“緑の量”に関する目標

“緑被率”“1人当たり公園面積”に加え、全国的に見ても特徴的といえる“緑視率”を新たに導入しました。緑視率は、目に見える範囲の緑の割合を計測・評価するための指標で、軒下や路地の緑、街路樹の下の草花など、緑被率では計測しにくい身近な緑を捉えることができるため、人々の緑に対する満足度を高めるための目安となります。

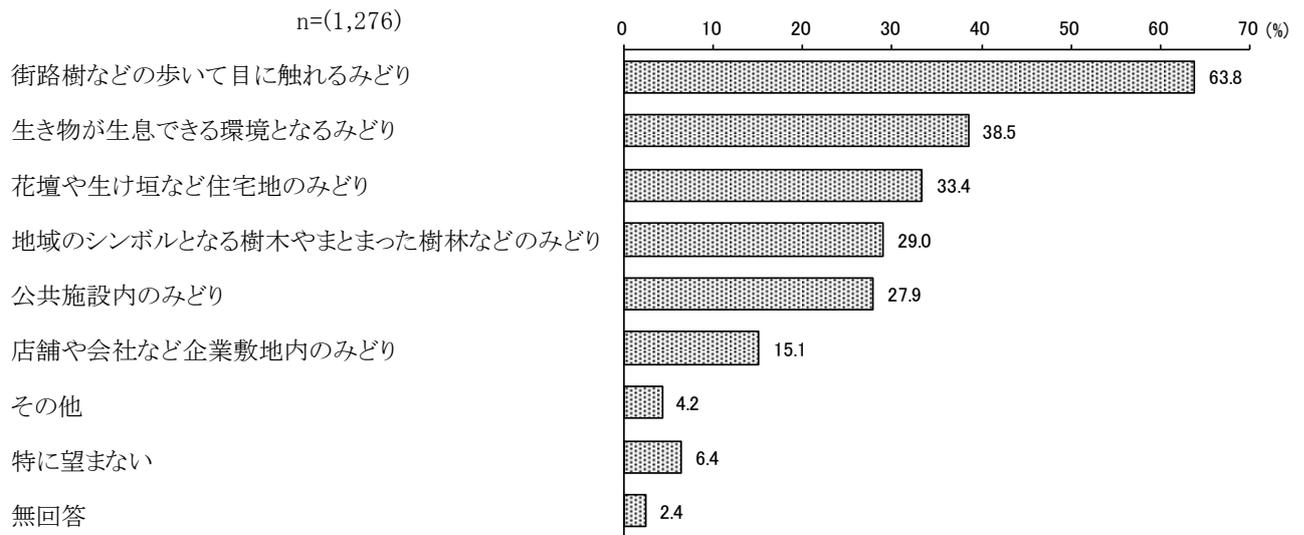
緑視率10%未満の計測地点13箇所 ⇒ **市内の緑視率10%以上の確保**を目指す。

3) 区民意識調査との関係分析

平成 28 年度新宿区区民意識調査の結果から以下のような区民のニーズが確認できた。

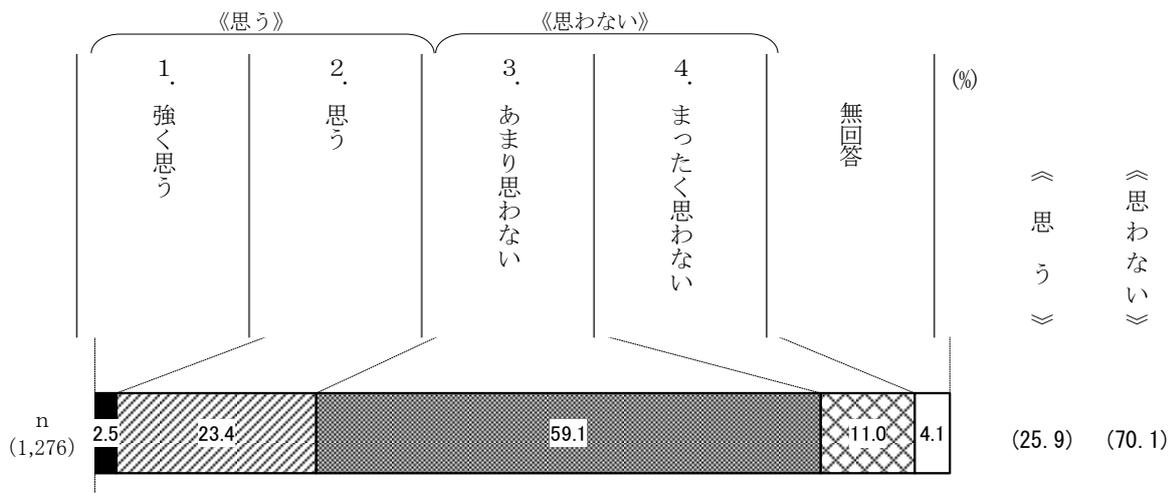
(1) 歩いて目に触れるみどりへのニーズ

区民意識調査の「問9 今後、充実させてほしいと思うみどりは何ですか。」の設問では、「街路樹などの歩いて目に触れるみどり」の回答が 63.8%で最も高く、「花壇や生け垣など住宅地のみどり」が 33.4%であり、区民がまち中や街路を歩く時目に見えるみどりへのニーズが多かった。



(2) 身近に自然を感じられるようなまち中の緑化が必要

「問 10 10 年前と比較して、身近に自然を感じられるようになったと思いますか。」では、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせて約 70%の回答があり、区民がまち中で、自然を感じることができるよう緑化の推進が必要である。

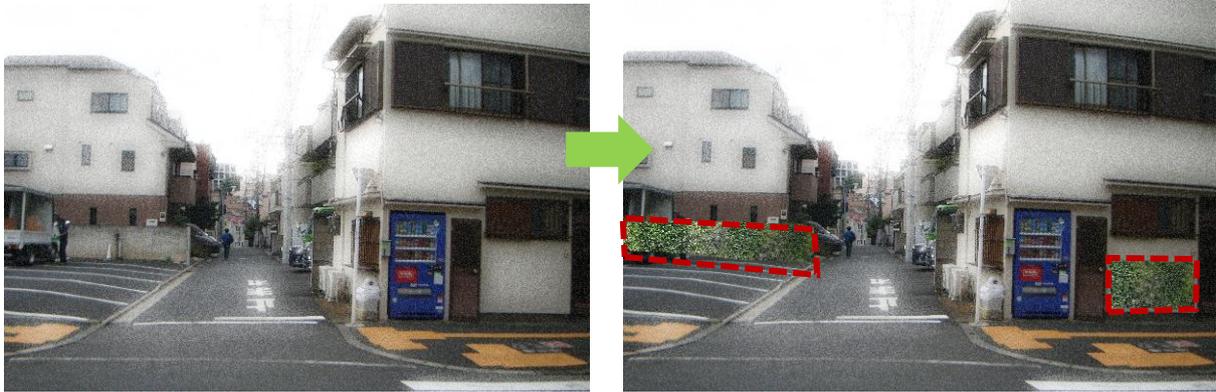


4) 緑視率向上の方策

緑化による緑視率向上の方策として、以下の①～③を進めていく。

① 駐車場や塀の緑化

(例 1) 駐車場塀の緑化、商店壁面緑化による緑視率 5%アップ



緑視率 0.5%

緑視率 5.5%

(例 2) 塀の緑化と花壇による緑視率 30%アップ



緑視率 2.12%

緑視率 32.12%

②商業地域における緑化

(例1) ハンギングプランター、電柱緑化による緑視率10%アップ



緑視率 0%



緑視率 10%

(例2) フェンスや建物ベランダ緑化による緑視率10%アップ



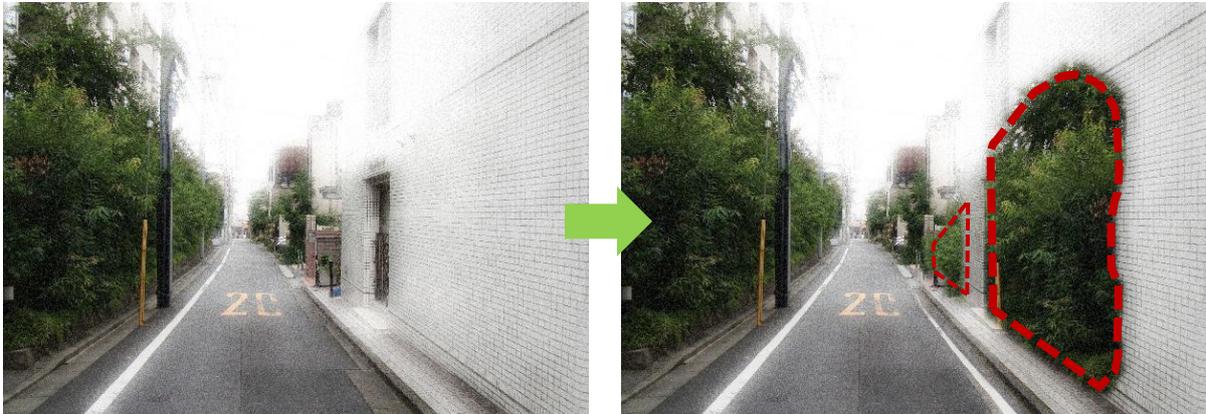
緑視率 0%



緑視率 10%

③住宅地における接道緑化

(例1) 建物の壁面を緑化することによる緑視率15%アップ



緑視率 30%

緑視率 45%

(例2) マンションの壁面を緑化することによる緑視率20%アップ



緑視率 27.33%

緑視率 50.33%

5) 施策展開への提案

(1) 計画目標としての活用

①全区の目標設定

区全体の緑視率目標を設定し、モデル地区設定や優秀事例の表彰などを実施し、企業や区民の参加を推進する。

②最低緑視率の設定

緑視率が低い地域が主な対象となり、一定以上の基準設定や緑視率確保のための地区設定などの緑化施策を展開する。

(2) 施策の展開例

①モデル地区設定の例

・緑視モデル地区

緑視率が低い地域を対象に、見えるみどりのモデルとなる地区を指定し、見えるみどりに対する意識の向上、民間の参加を誘導する。

・維持管理モデル指定

都心部でのみどり景観として、壁面緑化の有効活用を推進するために、歩行者や利用者に景観として利用され、オープンスペースとして活用されている一定の規模がある壁面緑化等の維持管理のモデルとして指定する。

②緑化施策の例

・緑化補助

視認性のある壁面緑化を対象に、一定の規模があり、緑視率の向上に寄与する緑化を補助する。

・駐車場緑化推進

緑視率が少ない駐車場の壁や路面の緑化を補助し、都心部で見えるみどりを確保する。